

下田メディカルセンター広報誌

下田MCLター

2023.1.1 発行

vol. 29



新年のご挨拶 下田メディカルセンター 病院長
下田メディカルセンター 管理部 管理部長代理
しらはまクリニック
介護老人保健施設 なぎさ園

安全衛生委員会の活動について

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別なご高配を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

当院は昨年も新型コロナ対応に追われた1年でした。第7波の際には当院スタッフから陽性者や濃厚接触者が複数名発生し、極めて厳しい人員体制の中で、入院を要する陽性者の方々や発熱外来に溢れる多くの患者様に対応しつつ一般診療も何とか維持させておりましたが、8月には遂に病棟でクラスター感染が発生することとなりました。当該病棟を閉鎖し、全職員が一丸となってそれぞれの職責を果たした結果、幸いにも1ヶ月弱でクラスターを乗り越えることができましたが、この間、待機手術や一部の検査ならびに検診業務などを中断するとともに一部の救急患者を受け入れる事ができず、地域住民や近隣医療機関の皆様には多大なご迷惑をおかけする結果となりました。市中に陽性者が多数発生する状況において「何としても院内クラスターだけは起こすまい」との思いのもと、水際で感染対策を行いながらもクラスターが起きてしまったことは残念でしたが、この経験の中から得た数多くの学びや気づきが今後の感染対策に必ずや生かされていくものと考えています。

2023年も近隣医療機関の皆様と緊密な連携をしながら、地域住民の方々に急性期及び回復期医療を安定的に提供できるよう、より一層の努力をしつつ感染対策を含めて体制構築に取り組んでいく所存です。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



いとう かずゆき

下田メディカルセンター 病院長 伊藤 和幸

新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

2022年4月より前任の吉野がジャパンメディカルアライアンスへ帰任する運びとなり、新たに業務を担うこととなりました。下田メディカルセンター管理部の浅野と申します。前任同様、引き続き宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年を振り返ると「コロナに始まりコロナに翻弄された年」となりました。特に8月の院内クラスターにおきましては患者様・ご家族の皆様、賀茂保健所、医療関係者の皆様には多大なるご心配とご迷惑をお掛けいたしました。新型コロナウイルス感染症に職員一同で立ち向かい9月には収束を宣言することが出来ましたが、そこに至るまでには多くの職員が感染し残された職員で地域の医療を支えなければならない日々もございました。

本年は、昨年の経験を十分に活かし感染対策を更に徹底すると共に、下田メディカルセンター理念に基づき私も精進してまいります。今後とも引き続き下田メディカルセンターへのご指導ご鞭撻のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

下田メディカルセンター理念

「仁愛の心を持ち、安心・安全で、かつ質の高い医療サービスを、24時間365日提供することにより地域貢献を果たします。」

下田メディカルセンター 管理部 管理部長代理

あさの よしあき

浅野 好章



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は日本全国で新型コロナウイルスによる感染者が今までで最多の年となりました。これまで平均的にみても下田地区においては日々数人程度でしたが、毎日のように何十人と感染する時期もありました。

そんな中、しらはまクリニックでは感染症疑い患者専用の発熱外来やコロナワクチン接種、日々の感染防止対策など新型コロナウイルスに対してさまざまな運用を行ってまいりました。しかし、感染が拡大するにつれて受診者も増加し、当院の医療機関だけでは対応しきれなかったのも事実です。やはり地域医療機関との連携は欠かせないと改めて実感することができました。受診者が殺到した時や重症の場合など、当院だけで診療できない場合は他医療機関との情報を密にし、協力し合うことで「患者様に対して最善の医療を提供する」という体制の構築は非常に大切なことだと改めて思いました。また、医療機関だけではなく、保健所や市役所など行政機関との連携も重要だと感じました。的確な情報を早く知ることで対応の幅が広がり、事前の対策を練ることができました。

今後も収束の見通しがないコロナ過と向き合っていくには、さまざまな運用に取り組み、地域の皆様と協力してより良い医療を提供するため努力していく所存ですので、本年も宜しくお願い申し上げます。

しらはまクリニック



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

日頃より、当施設に対しまして、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年は新型コロナウイルスの様々な影響を受け、夏の第7波では近隣の施設等でクラスターが発生する中、当施設では年間を通して数名の感染に抑えることができました。これもひとえに利用者様およびご家族様に面会制限、ワクチン接種等、感染症対策の取り組みにご協力いただいたおかげと心より感謝申し上げます。

来年度には、介護保険の負担割合の拡大も予定されておおり、高齢者介護の状況はますます厳しくなりますが、利用者様の介護には、地域社会や家族の役割が重要であると考えます。しかし、過疎化と高齢化により私たちの地域では相互に支え合う力が年々失われてきています。このような地域環境の中で、町内でひとつしかない老健施設として、地域の問題をみなさま方と同じ目線で捉え、地域に寄り添い支え合う施設として役割を担って参りたいと存じます。

末筆ながら皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

介護老人保健施設 なぎさ園



安全衛生委員会の活動について

会社の従業員が50人を超えると、労働安全衛生法の規定に基づいた様々な義務が発生しますが、そのひとつに安全衛生委員会の設置があります。当院は開設当初より従業員が規定人数を超えていたため、産業医の設置と併せて委員会活動を行っております。

安全衛生委員会設置の目的は、従業員の健康被害や労災の予防、職場の勤務環境の整備をすることです。院内ラウンドの際、各部署における衛生面・労働災害が起きる危険性への指摘を行うことは勿論、従業員の定期健康診断やインフルエンザなどの予防接種の実施、勤務環境改善に係るストレスチェックの実施や働き方改革に関する問題などを検討することも委員会の主たる業務としています。

また、「なんでもBOX」を設置することにより従業員から多くの声を集め、議題の公募を行ったり、これまで見えていなかった院内の問題点を洗い出し、その予防・対策について審議することに役立っています。



賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センターよりご挨拶



新年、明けましておめでとうございます。
皆様におかれましては輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
また、旧年中は、賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センターの事業へのご理解と運営にご協力いただき感謝申し上げます。本年も、市町、静岡県の行政機関と関連する各団体のご協力をいただきながら在宅医療・介護連携をさらに進めて参りたいと思っておりますので、より一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

令和五年 元旦

賀茂地区在宅医療・介護連携推進支援センター 矢田部、杉山

地域医療連携室よりご挨拶



あけましておめでとうございます。ここに謹んで新春のお慶びを申し上げます。また、旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。

下田メディカルセンターも5月で開院11周年を迎えます。当初は年間外来患者数45,111人、入院患者数21,071人の利用人数でした。10周年を迎えた令和3年には、68,868人、33,473人と、外来・入院数共に対比153%、159%と大幅に増加致しました。これもひとえに地域連携に携わる関係者各位のご支援ご協力の賜物と、ここに改めて感謝申し上げます。

しかし課題も山積しております。皆様もご承知の通り賀茂地区1市5町は高齢化率40%を超える全国屈指の高齢化進行地域です。独居、老々介護、身寄りがない方等、地域で暮らす為の支援も複雑となり、医師、看護師等人材不足も顕著になっています。当院では医療提供体制の拡充・維持を最重要課題として取り組んでおりますが、年々厳しい局面に迫られています。地域の皆様にはご迷惑おかけすることが多々あるかと思いますが、そのような状況を少しでも打破すべく、情報共有を密に図り多職種また地域で支える体制を賀茂地区在宅医療・介護連携支援センターとも共同し、地域医療連携の構築・強化に努めて参ります。

今後とも益々のご指導ご鞭撻賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

地域医療連携室 課長代理 木村 健吾

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年も地域の皆様のお力添えをいただきながら退院支援に努めていきたいと存じます。教えていただく事はばかりですがよろしくお願い致します。皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

地域医療連携室 医療ソーシャルワーカー 稲葉

新年あけましておめでとうございます。

昨年12月より相談員として勤務しております高橋彩乃と申します。まだ初めてのことはばかりで何かとご迷惑をお掛け致しますが、皆様のお力をお借りして患者様、ご家族様にとってよりよい支援ができるよう精一杯努めてまいります。今後ともよろしく願いいたします。

地域医療連携室 医療ソーシャルワーカー 高橋

新型コロナウイルス感染症の影響拡大を憂い、お見舞いを申し上げますとともに謹んで新年のご挨拶申し上げます。

昨年は新型コロナの影響で皆様とお会いできずもどかしい一年でした。一日も早く皆様に笑顔でお会いできることを楽しみにしております。

「ツキ」を呼ぶ円満な一年になりますように。

地域医療連携室 事務 神取

発行

下田メディカルセンター

〒415-0026 静岡県下田市6丁目4-10
TEL.0558-25-2525 FAX.0558-25-5050
http://www.s-m-a.or.jp/shimoda/

発行責任者 地域医療連携室長 浅野 好章

アクセス

伊豆急下田駅から徒歩10分圏。路線バスのバス停も目の前にあり、電車やバスでスムーズに来院いただけます。また、敷地内に300台収容の駐車場を用意しております。



SHIZUOKA MEDICAL ALLIANCE

医療法人社団 静岡メディカルアライアンス 運営施設

みなとクリニック(外来)

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674
TEL.0558-62-0005

しらはまクリニック(外来)

〒415-0012 静岡県下田市白浜1528-2
TEL.0558-27-3700

なぎさ園(介護老人保健施設)

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674
TEL.0558-62-6800

海老名ケアサポートセンター

(今里クリニック・介護住宅事業所・サービス付高齢者向け住宅)
〒243-0423
神奈川県海老名市今里一丁目10番12号
TEL.046-232-0606